

令和5年度 事業経過報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

当会は昭和3年4月2日に「社団法人 大日本陰陽会」を設立許可（民法第34条 水野錬太郎文部大臣）され、昭和17年「社団法人 大日本易道会」と改称し、昭和24年「社団法人 全日本易道学会」と改称の後、昭和33年4月22日に定款の一部変更とともに「社団法人 日本易学連合会」に改称するという経緯をもち、今年で社団法人設立から96年を迎えました。

平成25年4月1日公益社団法人設立となりました。令和6年度も公益認定に相応しく社会の信用・信頼に応える法人として、より広く門戸を開き公益性を取り入れた研修会、講演会、連続講座、講習会、鑑定会（ボランティア、チャリティ含む）、寄付金増額や当会の認知度向上のほか、易学の発展に資する事業を計画し、活動していきます。また、懇親会は講師の先生や会員相互の交流を図る目的で開催します。

定款第2章／第4条及び第5条に則り、下記の事業経過を報告します。

1. 本部行事の開催

公益社団法人としての自覚を持ち、社会の信用・信頼・奉仕に応えるため、より広く門戸を開くことを心がけます。本部では総会・慰霊祭・シンポジウム・各種研修会・講演会を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図ります。また、易学とそれに関わる学問の価値の啓発、鑑定士活動全般にわたるコンプライアンスの指導なども目的とし開催いたしました。各種行事等の後に行われる懇親会は会員相互の知識と情報の交換、参加者の交流を目的としています。

1. 本部 通常総会

① 第95回通常総会

期 日 令和5年5月15日（月）

場 所 明治記念館 丹頂の間 東京都港区元赤坂

出席者 会員35名・委任状出席252名 合計287名

内 容 令和4年度事業経過報告、令和4年度理事会議案事項報告、令和4年度収支計算書承認、令和4年度財務諸表承認、監査報告。令和5年度事業計画案報告、令和5年度予算案報告。会員に向け会場の様子をオンラインで配信しました。

② 令和5年度「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式

期 日 令和5年5月15日（月）

場 所 明治記念館 丹頂の間 東京都港区元赤坂

内 容 入門課程修了証授与者（令和5年上期2名）、入門課程修了証授与式参加者0名。欠席者2名の賞状は自宅へ郵送。認定鑑定士章貸与者（令和4年上期3名）、認定鑑定士章貸与式参加者3名。

③ 第95回通常総会後の懇親会

期 日 令和5年5月15日（月）

場 所 明治記念館 孔雀の間 東京都港区元赤坂

出席者 会員25名・来賓ら6名 合計31名

内 容 会員相互の知識と情報の交換、参加者の交流を深めました。交流のある他会の先生方もお招きし、易学団体同士の交流も深めました。

2. 本部 先師先哲慰霊祭

① 第95回 陰陽道先師先哲慰霊祭

期 日 令和5年10月10日（火）

場 所 真言宗豊山派大本山護国寺大本堂 東京都文京区大塚
仏式・護国寺 本殿（貫首含め15名の僧侶にて読経）

神式・護国寺境内慰霊碑前（相模國一之宮・寒川神社 禰宜、権禰宜にて祝詞奏上）

出席者 会員36名・ご遺族列席者2名 合計38名

内 容 全国より護国寺に集まった会員が先師先哲の方々への慰霊と感謝を捧げました。自らの一年間の行為を省みるとともに、ご遺族の方にご逝去された先生方の生前ご活躍などをお伝えする機会となりました。

- ② 令和5年度「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式
 期 日 令和5年10月10日(火)
 場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
 内 容 入門課程修了証授与者(令和5年下期4名) 入門課程修了証授与式参加者0名。欠席者4名の賞状は自宅へ郵送。認定鑑定士章貸与者(令和5年下期4名)、認定鑑定士章貸与式参加者4名。
- ③ 先師先哲慰霊祭時講演会
 期 日 令和5年10月10日(火)
 場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
 講 師 中西正史先生(寒川神社権禰宜)
 演 題 神道に於ける暦と方位信仰
 出 席 者 会員36名 合計36名
 内 容 日本における暦に関する話題として、文字が読めない庶民が農事を知るための「絵暦」や、その年の歳徳神をはじめとする方位神の所在場所や、暦の注釈によって選日によって吉凶を判断することを「方位信仰」と称すること、また方位信仰をもとに病気や精神疾患が禍をもたらす方位神の祟りに依るものとして処方のために御札を渡していた吉田神道の事例などをご紹介いただきました。
- ④ 先師先哲慰霊祭後の懇親会
 期 日 令和5年10月10日(火)
 場 所 椿山荘 東京都文京区関口
 出 席 者 会員26名 合計26名
 内 容 法事の精進落としにあたり、先師先哲の慰霊と感謝を捧げ、会員がその志を受け継ぐための再確認の機会となりました。

3. 本部 シンポジウム

第10回シンポジウム

- 期 日 令和5年7月8日(土)
 場 所 大阪工業大学 梅田キャンパス 大阪府大阪市北区茶屋町
 講 師 赤澤春彦先生(摂南大学教授)
 演 題 「安倍晴明 伝承の展開と陰陽道の呪術」
 出 席 者 会員39名・一般他21名 合計60名(オンライン受講含む)
 内 容 時代の寵児として活躍した安倍晴明の実像を、陰陽寮の実態や、鎌倉期、江戸期での安部晴明像などを通してご紹介いただきました。泰山府君祭のほか、スーパーマン化していった経緯がどのようなものであったかなど、史料を通じて詳しく学ぶことができました。

4. 本部 焼納祭

第16回認定鑑定士章焼納奉告祭

- 期 日 令和5年11月15日(水)
 場 所 相模國一之宮・寒川神社拝殿 神奈川県相模原市宮山
 対 象 者 認定鑑定士章返納会員
 出 席 者 会員(理事含む)11名
 内 容 認定鑑定士章(木札)返納16枚に対し、感謝を込めてお焚き上げを行いました。

5. 本部 勉強会

易学関連業界研修会

- 期 日 令和5年4月13日(木)
 場 所 衆議院第一議員会館 東京都千代田区永田町
 講 師 消費者庁消費者政策課
 演 題 「改正消費者契約法 現在の諸問題について(靈感商法・占サイト等)」
 出 席 者 占術団体の役員と当会の役員合計30名
 内 容 消費者庁から職員と、消費者庁(経済産業省)と関係した国会議員を招聘し、現在の日本社会における消費者問題について学び、占術団体との連携を深めました。

2. 支部報告会・研修会・講演会・講習会等の開催

各支部では、研修会・講演会・連続講座・講習会等を企画・運営し、会員の知識や人格向上を図ります。これらの活動は、易学とそれに関わる学問の価値の啓発や、公益法人の鑑定士に相応しい易学に基づく指導力の向上も目的として開催いたしました。

1. 北海道支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和5年4月23日（日）14時00分～16時30分

場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区

講 師 松本哲生先生

演 題 「干支九星でみる五行の量計算」

出 席 者 会員4名・一般14名 合計18名

内 容 令和4年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。生年月日の十干十二支に依り五行量を数値化し、性格や運勢、健康などをみていく方法を学びました。少ない五行の補い方等教えていただき、私たちが健康で幸せに生きて行く為の指針になりました。

② 夏季研修会

期 日 令和5年7月30日（日）14時00分～16時00分

場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区

講 師 新宮有貴先生

演 題 「四柱推命 疾病と対処法」

出 席 者 会員7名・友の会1名・一般7名 合計15名

内 容 病気は陰陽五行のバランスでみる。大過する五行、大過している五行に剋されている五行に着目。黄帝内経の五常について、よい食品の説明と先祖のご加護の大切さについて教えていただきました。

③ 秋季研修会

期 日 令和5年11月12日（日）14時00分～16時00分

場 所 札幌エルプラザ 北海道札幌市北区

講 師 仁科朱陽先生

演 題 「一桁霊数で個性を知る方法 パート2」

内 容 開催は中止となりました。

2. 東京支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和5年4月8日（土）13時30分～16時30分

場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ 東京都豊島区西池袋

講 師 奈良場勝先生（國學院大學栃木短期大学講師）

演 題 「近世易学研究-江戸時代の易占」

出 席 者 会員21名（うちオンライン参加5名）・一般1名 合計22名

内 容 令和4年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。奈良場先生の研究結果では、江戸時代の易は「易経」と同じではなく、中世の「暦占」のなごりがあるとされました。「断易」は日本固有の言い方で、中国には其の言葉が無かったと教えて頂きました。

② 秋季研修会

期 日 令和5年9月12日（火）

場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ 東京都豊島区西池袋

講 師 藤懸庚汪先生

演 題 「近現代の陰陽道史における大日本陰陽会の役割」

出 席 者 会員16名（うちオンライン参加5名） 合計16名

内 容 日本易学連合会が誕生した経緯を豊富な資料と藤懸専務理事のたゆまぬ研究と努力によって鮮明に教えて頂きました。天武天皇期からの「陰陽寮」、土御門家および三室戸家の

流れの中で「(社)大日本陰陽會」が設立され、今の日易連につながって行きます。深く研究された藤懸専務理事に敬意を表します。

③ 冬季研修会

期 日 令和5年11月24日(金)13時30分～16時30分
場 所 としま産業振興プラザ・イケビズ 東京都豊島区西池袋
講 師 佐藤徳樹先生(妙覺寺住職)
演 題 「お天道様は本当に見ているのか?～佛教と科学の見地から～」
出 席 者 会員21名(うちオンライン参加6名)・一般11名 合計32名
内 容 資料として「次元について・量子論とミクロの世界・法華経(壽量品)と量子論の共通点・しあわせについて考える」です。物理学の難しさを、佐藤住職の話す内容に引き込まれていきます。「幸せについて」も命は魂の始まりでは平等だが、その後の生き方の中で、自分が為した業の善悪によって差が出て来ると教え諭されました。

④ 新春研修会

期 日 令和6年2月4日(日)13時30分～16時30分
場 所 神田神社文化交流館4階令和の間 東京都千代田区外神田
講 師 岸川範雅先生(神田神社禰宜)
演 題 「神社と文化」
出 席 者 会員34名(うちオンライン参加1名)・一般33名 合計67名
内 容 「伝統的なもの」として当たり前前に接している、おみくじ、絵馬、御守りなどの「文化」が、時代の要請に応じて生まれてきたものであることをご紹介いただきました。神社では、古いものを大事にしながらも、新しいものを取り入れていっている。現代からみれば、古いと思われているものでも、実は近代からのものであることをご紹介いただきました。

3. 中部支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和5年5月20日(土)14時30分～16時30分
場 所 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 谷上眞咲樹先生
演 題 「神仏参拝の作法」～日の方位取りによる福の呼び込み方法～
出 席 者 会員13名・一般4名 合計17名
内 容 令和4年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。神仏参拝の作法として、神社参拝の正しい基本作法から、神社参拝と仏閣参拝との違いを詳しく教えて頂きました。また、日の方位取りによる福の呼び込み方法も学びました。特に金運を呼び込む方法として三合金局と十二直を使った方位取りはとても参考になりました。

② 秋季研修会

期 日 令和5年9月9日(土)
場 所 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 金寄泰衍先生(風水環境システム研究所所長)
演 題 「風水の開運原理を探る」～天地人の氣のはたらきを明らかにする～
出 席 者 会員11名・一般4名 合計15名
内 容 風水の開運原理として、宅の中心に天と地を結ぶ太極柱が重要であることを学びました。宅の氣を整える方法として、巒頭法を使った氣の整え方も実践を交えて教えて頂きました。この方法は、日常生活のあらゆる場で活用出来るので、生活をより快適にして運氣を上げる学びは大変役に立ちました。

③ 新春研修会

期 日 令和6年1月20日(土)14時00分～16時00分
場 所 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)1305号 愛知県名古屋市中村区名駅
講 師 三幸桃子先生(日本占術協会会員)
演 題 「開運手相」～手相で今年の運を占う～
出 席 者 会員17名・一般5名 合計22名
内 容 三幸先生の師である浅野八郎先生流の手相の基本的な見方を学びました。特にハッピーサインとして、持っているとても活躍が期待できる手相のサインをいくつか教えて頂きました。

た。当日の資料だけではなく、会場に参加して頂いた方の手相も参考にして、会場の皆さん全員が参加型の勉強方法は、資料のイラストでは読み取れない、実際の手相を見ることにより、実占に役立つ良い勉強になったと思います。

4. 京滋支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和5年4月16日(日) 14:00~16:00
場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町
講 師 朱麗華先生
演 題 「運を伸ばす九星気学開運法」～傾斜鑑法で観る仕事、結婚、金運、健康運～
出 席 者 会員27名(うちオンライン参加10名) 合計27名
内 容 令和4年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。生まれた年の九星、本命星と生まれた月の九星～月命星、そしてこの2つの関係から割り出される傾斜鑑法をもとに、個人の運命を導く方法、さらに前年度の復習に続き、金運・財運・不動産運、旅行運や名誉運、権威運などについて署名人を例に挙げながらお話いただきました。

② 秋季研修会

期 日 令和5年10月29日(日) 14:00~16:00
場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町
講 師 中島玄創先生
演 題 「タロットの魅力」
出 席 者 会員29名(うちオンライン参加8名) 合計29名
内 容 78枚のカードを用いて相談者にアドバイスしていくタロットについて、各カードの基本的な意味、鑑定者の解釈が大きな働きをすること、そして「鑑定時」に出たカードが最適な回答(アドバイス)であるということから、最後に「相談者の中にある漠然とした想いや考えを整理し、気づかせてくれる占術」だとお話いただきました。

③ 冬季研修会

期 日 令和6年2月18日(日) 14:00~16:00
場 所 京都経済センター 京都府京都市下京区函谷鉾町
講 師 奈良場勝先生(國學院大學栃木短期大学講師)
演 題 「日本の易占術の特質」
出 席 者 会員24名(うちオンライン参加6名) 合計24名
内 容 日本の古代から中世において「古事記」より日本神話の占いから天照大神と素戔嗚の『うけひ』のお話や、天岩戸の『ふとまに』という亀卜・易占以前の占いについてお話いただきました。西暦900~1400年の間、日本での占いについては不明で、易は500年間、表には表れてこなかったと考えられるも、日本の年号が『易経』から27回も陰陽されていることなど占いの歴史について興味深いお話を伺いました。

④ 令和5年度講習会、佳扇会 勉強会

期 日 令和5年3月25日、12月2日(土)
場 所 京都ウィングス ほか
講 師 松村佳扇先生
演 題 「四柱推命の命式の読み解き、気学、模擬鑑定など」
出 席 者 各回15名
内 容 命式鑑定書をもとに四柱推命の実践指導、また会員同士による模擬鑑定など。

5. 近畿支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和5年4月9日(日) 13時00分~16時00分
場 所 国民会館 大阪府大阪府中央区大手前
講 師 大形徹先生(立命館大学教授)
演 題 「前漢馬王堆出土文献『胎産書』にみえる占い」
出 席 者 会員46名(オンライン参加含む)・一般10名 合計56名
内 容 令和4年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。古代、国の大事を決定する時、神の真意を聞くため占いが大きな役割をはたした。陰陽五行説は戦国時代

から近代に続き、中国医学の中でも重要や役割を担うと説明。「胎産書」の占いについて、人字図占い、占いと皇帝、四季図筆を紹介され、大変興味深く拝聴いたしました。麒麟の話もまじえて占いの深い歴史的流れの一端を知ることが出来ました。

② 秋季研修会

期 日 令和5年10月15日(日)13時30分～15時40分
場 所 国民会館 大阪府大阪市中央区大手前
講 師 金寄泰衍先生(風水環境システム研究所所長)
演 題 「風水の開運原理を探る～天地人の氣を明らかにする～」
出 席 者 会員39名(オンライン参加含む)・一般21名 合計60名
内 容 いつもながら会場内の検証、刀印で柱の角の殺気を調整、太極軸のない宅内は中心の力が弱く開運効果も得にくい。建物の1階、5階以上の地氣、風氣の影響をご説明、五行、宅氣場での吉凶の説明。今回は正八面体の立体図や図面で更に進化させた開運原理を学びました。

③ ボランティア鑑定会 大阪聴力障害者協会文化祭

期 日 令和5年10月22日(日)11時00分～15時00分
場 所 大阪長居障害者スポーツセンター 大阪府大阪市東住吉区長居公園
主 催 公益社団法人聴力障害者協会
出 席 者 鑑定士5名・世話役3名 合計8名
内 容 5名の鑑定士が、休みなく相談者の方の手話を通じて占われておりました。顔なじみの方も増え喜んでいただけて幸いです。高齢者からお子様まで、笑顔で帰っていただき、これらからもますます鑑定力を磨き元氣と幸せをアドバイス出来るよう頑張ります。今回62名鑑定、26,000円を寄付しました。

④ 近畿支部勉強会

期 日 令和5年4月22日(土)第四土曜日(8月12日は休み)13時00分～15時00分
場 所 大阪市立社会福祉センター 大阪府大阪市天王寺区東高津町
講 師 武藤素宗先生
演 題 「周易、姓名判断、四柱推命、九星気学(月1回午前中)
(九星気学10時～11時30分、5～8名、一般の方含む10月スタート)」
出 席 者 各回10～15名
内 容 近畿支部会員や他支部会員も交えて、周易、姓名判断、四柱推命と幅広い内容を教えてくださっております。易学の勉強会を今後も続けて行く事で会員相互の親睦も深まっております。10月からは朱麗華支部長の九星気学勉強会もはじまりました(月1回)。

⑤ 大阪聴力障害者協会新聞運勢欄

期 日 令和5年4月～令和6年3月まで
主 催 公益社団法人聴力障害者協会
演 題 月刊誌「ろうあ大阪」毎月の運勢担当(全般、金運、健康、ラッキーアイテム)
内 容 「ろうあ大阪」毎月号に2ヶ月分の占い掲載。過去4年間で3名の鑑定士が原稿執筆協力。お正月には干支のタオル10枚を毎年寄付、執筆なさる方もよい勉強になり、また読者からも喜んでくださっていると聞いております。

6. 山陽支部

① 報告会・春季研修会

期 日 令和5年6月18日(日)
場 所 とおり町交流館 広島県福山市笠岡町
講 師 朱麗華先生
演 題 「観相学からみる心身の疲れや病氣予測」
出 席 者 会員20名(うちオンライン参加11名含む) 合計20名
内 容 令和4年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案等の報告。小人形法(顔に体を当てはめる病氣予測)では占法の結果「凶と出ても吉と転換するアドバイスをしましょう」と教わりました。整体法(体壁からみる病氣予測)では先生の実技から真似て舌の運動したり口の指圧したり呼吸法を真似したり多くを学びました。

② 秋季研修会

期 日 令和5年10月20日(日)
場 所 ダイワロイネットホテル姫路 兵庫県姫路市駅前町
講 師 田中延樹先生
演 題 「①命式の出し方「万年歴なしで出す方法」、②山崎豊子著「不毛地帯」の主人公の人生を解得しましょう。」
出席者 会員31名(うちオンライン参加13名) 合計31名
内 容 ①資料を参考に年干支・月干支を調べて計算します。とても興味深く身に付けたい方法でした。②主人公「壹岐正」の命式を元に生き様と照らし合わせて、何故シベリアから生還し日本で活躍できたのか。紐解きながら学びました。タレントと死刑囚の命式を出し、両者ともに食傷大過であるのにも関わらず全く違う人生となった経緯などを学びました。

3. 出版事業部

① 「開運実占手帳」頒布

期 日 令和5年8月販売
内 容 第15回目になる当会監修の手帳頒布は、会員からの貴重な意見を取り入れ改良を重ね、より使いやすく見やすくなるよう令和5年度版引き続き作成。会員及び希望者に令和5年度版「開運実占手帳」頒布しました。鑑定に必要な東洋と西洋の易学の基礎知識を網羅した手帳。令和5年度版暦、周易(易経)、断易(五行易)、相学(人相・手相・家相)、気学(方位学)、四柱推命、算命学、姓名判断、奇門遁甲、納音の運勢、西洋占星術、タロット等。携帯に便利な上、一冊で鑑定及び勉強に役立ち、一年間利用できる利点がある。また、易学図書を専門に販売している書店からも好評を得ました。

② 寒川神社発行「さがみ暦」

期 日 令和5年6月までに作成
内 容 当会と関係の深い、相模國一之宮・寒川神社が発行する「さがみ暦」の中の運勢欄を担当することにより、易学で使用する暦を世の中に普及できました。また、寒川神社で頒布する暦を通して、日本の伝統文化の在り方を社会に示すことにもつながりました。

③ 「定年時代」運勢欄担当

期 日 令和6年1月～令和6年3月まで
場 所 関東方面(東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城)
講 師 朱麗華先生
演 題 令和6年1月号からの九星運勢欄。本部からの依頼。
内 容 朝日新聞の折り込みに月2回届く、アクティブシニアの応援誌「定年時代」に、昨年10月編集責任者から依頼あり。本部事務局訪問あり、当会PRになると思い、朱麗華が担当いたしました。

4. 収益事業部

① 講習会

期 日 令和5年4月～令和6年3月 月1回(第2金曜日)
場 所 日易連 318号室
講 師 野村周石先生
講 座 名 「周易の上級」
内 容 開催は中止となりました。

② 講習会

期 日 令和5年4月～令和6年3月 月1回(第2月曜日)
場 所 日易連 318号室
講 師 野村周石先生
講 座 名 「周易の実占」
内 容 開催は中止となりました。

③ 講習会

期 日 令和5年4月～令和6年3月 月1回(第1火曜日・午前)

場 所 日易連 318 号室
講 師 岸浦光伶先生
講 座 名 「西洋占星術」
内 容 開催は中止となりました。

④ 講習会

期 日 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月 月 1 回（第 1 火曜日・午後）
場 所 日易連 318 号室
講 師 岸浦光伶先生
講 座 名 「タロット」
内 容 開催は中止となりました。

5. 鑑定事業部

① 認定鑑定士取得者による鑑定会

期 日 随時
場 所 日易連 318 号室/他
出 席 者 日易連認定鑑定士
内 容 本部事務所に問い合わせされた鑑定希望者を、認定鑑定士取得者が適切かつ親切に鑑定をして、お客様に喜ばれました。今年度は 4 件の鑑定依頼がありました。

② アサダオフィス主催 アサダセミナー

期 日 令和 4 年 5、7、9、11、令和 5 年 1、3、奇数月 計 6 回
場 所 取手市内 公共施設
鑑 定 士 日易連認定鑑定士
内 容 開催は中止となりました。

③ ボランティア鑑定会 「耳の日記念文化祭」

期 日 令和 6 年 2 月 24 日（土）、25 日（日）
場 所 東京都障害者福祉会館 東京都港区芝
出 席 者 日易連認定鑑定士と会員 各日 9 名参加（鑑定士 6 名、受付 3 名）延べ 18 名
内 容 鑑定料 500 円で 131 名鑑定（24 日 64 名、25 日 67 名、うち健常者 68 名、ろう者 63 名）
売り上げからスタッフ交通費を引いた金額の半分 ¥23,750 を寄付いたしました。

④ ボランティア鑑定会「ふれあい耳まつり」

期 日 令和 6 年 3 月
場 所 江戸川区東部区民館 東京都江戸川区中央
出 席 者 日易連認定鑑定士と会員 8 名参加（鑑定士 6 名、受付 2 名）
内 容 鑑定料 500 円で 72 名鑑定（うち健常者 44 名、ろう者 28 名）売り上げからスタッフ交通費を引いた金額の半分 ¥14,000 を寄付いたしました。

6. 検定事業部

① 周易検定試験受験者の為の講習会

期 日 令和 5 年 10 月 1 日（日）
内 容 開催は中止となりました。

② 周易検定試験（初級）

期 日 令和 5 年 11 月 5 日（日）
内 容 開催は中止となりました。

7. 総務部

1. 占術団体との交流

占術団体として影響力のある組織、日本占術協会と東洋運勢学会との交流を深めることは、当会及び日本社会にとって意義あることと考えます。

① 占術団体との交流 日本占術協会

期 日 令和5年10月8日(日)
場 所 北とぴあ 東京都北区王子
出 席 者 松本副理事長、出口庶務理事
内 容 他占術団体が主催するセミナーに参加し、交流を行いました。

② 占術団体との交流 東洋運勢学会 懇親会

期 日 令和5年12月3日(日)
場 所 浅草ビューホテル 東京都台東区西浅草
出 席 者 冨理事長、藤懸専務理事、出口庶務理事
内 容 他占術団体が主催するセミナーと懇親会に参加し、交流を行いました。

8. 機関誌部

奇数月(隔月)に会員・友の会会員・他会関係者などに「日本易道タイムス」を送付します。本部及び支部からのお知らせ、研修会予定、報告書、月運、会員からの記事等を掲載しました。また、「日本易道タイムス増刊号」の記事選定・校正・発刊業務を行いました。

① 「日本易道タイムス」

期 日 令和5年4月～令和6年3月(奇数月に発刊)
内 容 奇数月(隔月)に会員・友の会会員、他会関係者などに「日本易道タイムス」を送付します。本部および支部からのお知らせ、研修会予定、報告書、月運、会員からの記事などを掲載します。月運執筆者は5月号より北海道支部、芦原一人先生に交替しました。

② 「日本易道タイムス増刊号」(春号・秋号)

期 日 令和5年4月～令和6年3月(4月・10月に発刊)
場 所 原書房・鴨書店・中尾書店(販売) 国立国会図書館(寄贈)
内 容 大会が主催する大学でのシンポジウムや研修会・講演会(大学教授・専門家など)での講義内容を編集し、小冊子として発行した。販売は原書房・鴨書店・中尾書店。国立国会図書館に寄贈。大会の認知度向上と易学・観相学を中心に学術化を推進し社会に普及。

9. 組織部

会の運営や事業のすべてにかかわる部門ですので、本部と各理事・支部長・担当者等の中で事がスムーズに運ぶよう働きました。また、入退会希望者の書類受付・審査・理事会承認等の手続き全般に関する事をしました。

10. 倫理部

規則と規律の中にこそ和と輪ができ、社会の一員として責任ある行動を取り、正直で恥じることなく社会に貢献することを心がけました。大会に所属する会員が倫理規程に違反するときは、会則に従って審議され処分を受けることとなります。倫理規程の制定目的は会員の倫理規範の向上にあります。

- ① 会員名簿を更新掲載
- ② ホームページ毎月の更新業務及び各欄の見直し、修正など
- ③ 各支部会員のHP、名刺など、倫理規程に照らし調査
- ④ インターネット広告掲載規制と倫理懲戒規定の見直し

隔月のホームページの見直しと更新処理をしました。大会が定める会則に従い違反行為とみなされる方を皆様の協力に基づき調査しました。確認後、個々に通達しました。

11. 認定鑑定士部

大会には「入門課程修了証」と「認定鑑定士章」という資格を認定する制度があり、会員はそれぞれに質の向上を計り、それを目指しています。資格の取得に際しては試験や論文提出の義務があり、それを満たした会員に「入門課程修了証」は授与、「認定鑑定士章」は貸与の決まりがあります。様々な理由で退会した時は、「認定鑑定士章」は返却されなければなりません。返却された「認定鑑定士章」は寒川神社で焼納奉告祭としてお焚き上げを行っています。また、木札と称されている「認定鑑定士章」は、昭和40年頃は文部省許可と記された経緯があります。

1. 本部「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式
期 日 令和5年5月15日(月)
場 所 明治記念館 丹頂の間 東京都港区元赤坂
内 容 入門課程修了証授与者(令和5年上期)2名(賞状は自宅へ送付)
認定鑑定士章貸与者(令和5年上期)3名(貸与式参加者3名)
*試験日は東西共に3月18日(土)13時00分～

2. 本部「認定鑑定士章」貸与式 及び「入門課程修了証」授与式
期 日 令和5年10月10日(火)
場 所 護国寺・桂昌殿 東京都文京区大塚
内 容 入門課程修了証授与者(令和5年下期)4名(賞状は自宅へ送付)
認定鑑定士章貸与者(令和5年下期)4名(貸与式参加者4名)
*試験日は東西ともに8月19日(土)13時00分～

以上